

第222回研究科委員会・第327回教員会議 議事要録

日時：令和3年9月17日（水） 13：30～

場所：後援募金記念棟 会議室1-3

議 題

研究科委員会

[審議事項]

1. 教務委員会

(1) 内部質保証実施要項の改正について

資料1に基づき、「4. 評価項目・評価基準」を別表とともに追記するとの提案があり、承認された。

(2) 博士論文学位審査について（投票）

回収資料に基づき、博士後期課程に所属する大学院生1名と単位取得後退学した大学院生1名の計2名に対する学位審査を行なった。前者については、主査である教授より研究の概要が紹介され、主要論文の中の「章」の意味についての質疑応答があった後投票が行なわれ、投票総数45票・賛成45票で博士号を授与することが決定された。後者については、主査である教授より研究の概要が紹介され、在学年数についての質疑応答があった後投票が行なわれ、投票総数45票・賛成44票、反対0票、白票1票で博士号を授与することが決定された。

(3) 研究計画書及び研究指導計画書に関する申し合わせの制定について

資料2に基づき、大学機関別認証評価において指摘を受けていた、研究計画書及び研究指導計画書に関する申し合わせ（案）と研究計画書及び研究指導計画書（案）が提案され、承認された。なお、博士後期課程についても同様であることと10月入学者から適用するとの説明があった。

(4) 令和3年度9月修了判定について

回収資料に基づき、資料に記載された博士前期課程5名のうち2名に対して9月修了（修士号授与）が認められた。残りのうち1名は長期履修者であること、博士後期課程については修了を延期する者が4名いることが確認された。

2. 入学試験委員会

(1) 共生システム理工学研究科（博士前期課程・博士後期課程）アドミッション・ポリシーの改正について資料3に基づき、共生システム理工学専攻（博士前期課程）及び環境放射能学専攻（博士前期課程）のアドミッション・ポリシーに、「入学者選抜の基本方針」を追記することが提案され、承認された。

(2) 共生システム理工学研究科（博士前期課程）における令和4年度10月期入学の実施について資料4に基づき、秋入学を実施していなかった環境放射能学専攻についても、海外からの留学生や奨学金の条件になっていることなどを考慮して、来年度から実施したいとの提案があり、承認された。

[報告事項]

1. 学生生活委員会

(1) 令和3年度入学料免除（災害枠及び学類一般枠）選考結果について

回収資料に基づき、申請のあった2名がともに不許可となったこと、この2名については既に入学料を納入済みであることが報告された。

共生システム理工学専攻会議

[報告事項]

1. 教務委員会

- (1) 博士前期課程秋入学新入生ガイダンス日程について
資料5に基づき、説明された。

教員会議

[審議事項]

1. 教務委員会

- (1) 内部質保証実施要項の改正について(学類長)
資料6に基づき、「4. 評価項目・評価基準」を別表とともに追記するとの提案があり、承認された。
- (2) 令和3年度非常勤講師計画について
資料7に基づき、番号51「(新)(旧)自然環境調査法」の日程等が決定した、との説明があり、了承された。担当の塘教授から時間数は40ではなく36であるとの指摘があった。
- (3) 非正規生(科目等履修生)の受け入れについて
資料8に基づき、2名の科目等履修生の受け入れが提案され、承認された。
- (4) 令和3年度9月卒業判定について
回収資料に基づき、5名(人間支援システム専攻1名、産業システム工学専攻3名、環境マネジメントシステム専攻1名)の卒業が認められた、

2. 入学試験委員会

- (1) 令和4年度共生システム理工学類一般選抜追試験の試験科目および配点について
資料9に基づき、説明された。判定基準について質問があり、追試験については定員の枠外であるとの説明があった。本試験と追試験とで評価の観点異なる点や、オンライン面接の評価項目に「積極性」等が入っているのは問題では、といった意見が出され、継続審議とすることになった。

3. 学生生活委員会

- (1) 無期停学処分学生の停学解除について
無期停学処分となっている2名の学生のうち、1名については深い反省や生活態度に改善がみられるため、9月30日付で停学処分を解除したいとの提案がされ、承認された。

[報告事項]

1. 教務委員会

- (1) 基盤教育科目・問題探究科目(新規)について
資料10に基づき、2022年度の新規開設科目「地域と世界の未来をつくる科学入門」の担当者(各分野から1名ずつ)が報告された。

2. 入学試験委員会

- (1) 令和4年度入学試験の日程について
資料11に基づき、入学試験の日程(追試験を含む)が報告された。

3. 学生生活委員会

- (1) 令和3年度入学料免除(災害枠及び学類一般枠)選考結果について
回収資料に基づき、国の修学支援制度(JASSO 給付奨学金)へ申請のあった27名のうち、10名が全額免除、9名が2/3免除、4名が1/3免除(内1名は災害枠と合わせて全額免除)、4名が不許可となったこと、本学独自の災害枠へ申請のあった者のうち2名が全額免除、2名が不許可となったことが報告された。

4. 国際交流委員会(会議冒頭で報告)

- (1) 2021年度派遣・受入学生の状況及びコロナ禍の国際交流活動について
資料12に基づき、派遣と受入の状況が報告された。

5. 奨学寄附金の受入について

奨学寄附金3件と学術指導1件が報告された。

教育研究評議会

第364回（8月31日開催）報告

【審議事項】

(1) 大学院学則の改正について【資料5】（意見聴取）

資料5に基づき、大学改革支援・学位授与機構における大学機関別認証評価の事前相談の指摘事項を踏まえ、成績評価基準等の明示等に係る条項の新設、単位の認定に係る条項の適正化、字句修正等に係る大学院学則の改正を行うことについて提案があった。意見聴取し、第367回教育研究評議会（9月28日開催予定）にて各学類から戻り報告をすることとなったので、意見等あれば9月26日9時までに学類長へ提出することとした。

(2) 大学院の改革について【資料6】

資料6に基づき、教員の配属に係る対応と配属案の提案、教育プログラムの基本設計案の提案、各研究科設置準備室への依頼事項の説明、文部科学省への第4回事務相談に向けた資料案の確認があった。

【報告事項】

(1) モスクワ国立大学化学部と環境放射能研究所との連携に関する協定の締結について【資料1】

資料1に基づき、モスクワ国立大学化学部と環境放射能研究所との連携に関する協定の締結について報告があった。

(2) 福島イノベーション・コースト構想推進機構「復興知」事業 教育推進機構「ふくしま未来学」特任教員の採用について【資料2】

資料2に基づき、福島イノベーション・コースト構想推進機構「復興知」事業に採択された教育推進機構「ふくしま未来学」について、特任教員1名を採用するとし、教員選考結果の報告があった。

(3) 令和3年度監事監査計画について【資料3】

令和3年度監事監査の基本方針、監査の実施期間、監査の方法、監査の対象部局、監査の重点事項及び監査計画予定表等について説明があった。

(4) 令和3年度新入生アンケート調査結果について【資料4】

令和3年度新入生アンケート調査結果について報告があり、高等教育企画室の特任准教授から、調査結果の詳細について説明があった。

第365回（9月7日開催）報告

【審議事項】

(1) 大学院の改革について【資料2】

資料2に基づき、各研究科・専攻のミッションと育成するイノベーション人材像に係るブラッシュアップ案、教育プログラムの基本設計（案）への意見聴取状況等、大学院定員未充足対策WGにおける各研究科・専攻の定員（素案）の検証結果、文部科学省への事務相談資料案、についての説明があった。

【報告事項】

(1) 令和4年度概算要求額の伝達等について【資料1】

令和4年度概算要求に係る調書のうち教育研究組織改革分の概要、及び文部科学省から8月30日付で伝達があった令和4年度運営費交付金の概算要求額について報告があった。基盤的設備等整備分については、本学は食農学類関係の設備3件、理工学類関係設備1件の計4件を要求し、食農学類の「食品の健康機能性・安全性解析システム」が計上されたこと、教育研究組織改革分については、理工からは、カーボンニュートラルの実現を目指し教育研究を推進する「自然資源活用研究センター（仮称）を要求していることが報告された。